

社長塾セミナー

貸借対照表・損益計算書の読み方 中級編

2025年8月21日

新美税務会計事務所

大森 慶一



目次

- 初級編の再確認 P 2、資料 1
- 変動損益計算書とは P 3 ～ 6、資料 2 ～ 5
- キャッシュフロー計算書とは P 7 ～ 1 0、資料 6 ～ 7
- まとめ P 1 1



初級編の再確認

- 決算書とは、**貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書**（財務三表）などの書類です。
- 貸借対照表とは、会社の財務（財産）状況を示す書類です。
資産の部、負債の部、純資産の部の3つで構成されています。
貸借が対照のため、「**資産の部 = 負債の部 + 純資産の部**」となります。
- 損益計算書とは、会社の経営成績を把握するための書類です。
大まかには、「**収益 - 費用 = 利益**」で構成されています。



変動損益計算書とは

- 変動損益計算書とは、**管理会計**の視点からみた損益計算書です。
- 財務会計と管理会計
 - 「**財務会計**」：金融機関などの社外関係者に対して、業績を報告することを目的とした会計です。
例えば、決算書（損益計算書）を用いて報告します。
 - 「**管理会計**」：自社の経営に活用することを目的とした会計です。
例えば、変動損益計算書を用いて**損益分岐点**を把握します。



キャッシュフロー計算書とは 1

- キャッシュフロー計算書とは、名前の通り
キャッシュフロー（資金の流れ）を把握するために用いる書類です。
例えば、利益が出ているのに お金が増えない、なぜ？ がわかります。
※ただし、大企業のみで作成義務があります。（中小企業は作成不要）
- キャッシュフロー計算書の作成方法
直接法 と 間接法 があります。
間接法：貸借対照表と損益計算書を用いて、比較的容易に作成できます。
直接法：実際の資金の流れを集計する方法で、貸借対照表と損益計算書
以外に、取引ごとの詳細な資料が必要（手間がかかる）です。



まとめ

- 変動損益計算書を活用する。
 - 1、損益分岐点売上高を把握して、目標売上高・目標利益を設定する。
 - 2、損益分岐点を下げるにはどうするか、検討する。

- キャッシュフロー計算書を活用する。
 - 1、企業の資金の流れを把握する。
 - 2、利益が出ているのに、資金が減少していないか確認する。
 - 3、営業活動は順調か、又は設備投資などが適切か確認する。
 - ※順調（適切）であれば、フリーキャッシュフローがプラスとなる。